



特別支援学校教員 藤田明宏 (ふじた あきひろ)

今月のテーマ

新型コロナウイルス感染症による臨時休校と「親の会」要請行動—北海道のとりくみ

はじめに

北海道では、知事要請により、2020年2月27日から全国に先駆けて一斉休校の措置をとりました。休校期間としては全国最長です。

流行の兆しもない地域の学校まで休校にしなければならないのか。長期の休校という重大なことを、当事者の声を聞かずに簡単に決めていいのか。感染予防をしながら教育活動を継続できないのか。そんな疑問が湧いてきました。

3月4日、道教委特別支援教育課は卒業式についての通知を出し、卒業式を行う学校・学部と行わない学校・学部を峻別しました。重症児や基礎疾患のある子どもにとって、感染症は脅威ですが、卒業式を一律に奪う必要はありません。個別に配慮すべきことです。また、家族の休業、放課後等デイサービス・学童保育に子どもたちが溢れる状況も生じました。

そこで、障害のある子ども・家族の要求を行政に伝える必要があると考え、3月5日、全障研北海道支部の助言も得て「親の会」が主体となった要請行動へと歩を進めました。

道教委への緊急要請

1999年から毎年講演会等を開催している北海道障害児教育フォーラムの後援団体の「親

の会」5団体（北海道手をつなぐ育成会、北海道自閉症協会、北海道小鳩会〈ダウン症児・者親の会〉、北海道学習障害児・者親の会クローバー、北海道自閉症協会札幌分会ポプラ会）に、要請の趣旨説明と賛同の依頼をしました。

卒業式を直前に控えていることから、翌日の6日には連名による要請の必要があり、急いで調整をしてもらいました。短時間で意見を集約し、賛同していただいたことに、保護者のねぎらいの切実さを感じました。

要請には特別支援教育課が対応し、テレビ、新聞の取材もありました。「親の会」は、「一律休校はおかしい」、「学校を居場所として開放してほしい」、「卒業式は対策をとって行ってほしい」などの意見を伝えました。メディアをとおして、障害のある子どもたちが休校で家庭にいることにより生じる困難や、教育行政に求めることを道民に知らせることができました。ある参加者が語ったように「声を上げていかなければわかってもらうことができない」のです。

緊急事態宣言延長による実態の調査とさらなる要請行動へ

4月初旬に始業式を迎え、学校が再開されましたが、この頃から札幌市内の新規感染者が増加しました。入学式を終えた直後、北海道・札幌市緊急共同宣言が出され、札幌市内の学校と



2020年3月6日の北海道教育委員会への要請

近郊の一部学校の14日から5月連休明けまでの休校が決まりました。

全国でも感染者が増え、16日に緊急事態宣言対象地域が全国に拡大され、北海道は特定警戒都道府県に指定されました。これを受け、再び道内の学校がすべて休校となりました。最長5月末まで休校となる可能性も出てきたことから、子どもや家庭の実態と要望を確かめ、それに基づく要請を行うべきだと考えました。

「親の会」5団体に実態と要望の収集を依頼し、家庭からの声を集めてもらいました。さらに、北海道重症心身障害児（者）を守る会と連絡を取り、重症児者が抱えている課題についての情報を得ることができました。

以下、出された実態をまとめます。

- ・「問題行動」の頻発
- ・体重の増加、生活習慣の乱れ、心身の不調
- ・親・きょうだいなどの家族の負担増と心身の不調
- ・進路への不安
- ・事業所の販売中止による収入の途絶、事業継続への不安
- ・児童デイサービスの負担増加
- ・医ケアに必要な資材の入手困難

これらの実態から、「学校の開放」、「学習保障」、「本人家庭への連絡支援」、「事業所への支

援」、「感染した時の適切な対応」などの切実な要望が出されました。それをもとに、5月18日、道教委と道障害者保健福祉課に、学校教育12項目、障害福祉4項目の要請を行いました。

道教委要請には、特別支援教育課、義務教育課、高校教育課が対応し、可能なものは施策に反映する姿勢を示しました。前回同様、メディアをとおして緊急事態宣言下での障害児者のきびしい状況を広く知らせることができました。

今後の課題

以下、今後の課題です。

- ①重症心身障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、視覚障害、聴覚障害の子ども・家族の実態把握。
- ②「親の会」の会員ではない家庭の実態把握。
- ③道内各地域の実態把握。
- ④要請主体としての「親の会」のネットワーク構築。

感染症のみならず、災害などの緊急時には、最も弱いところ、困難が大きくなるところに矛盾が現れます。障害児・者分野の実情は、広く知られているとは言いがたく、当事者である「親の会」が連携して声を上げた今回の要請行動には大きな意義があります。今後の継続したとりくみが必要です。